

SNSなどのサービスの年齢制限を知っていますか？

SNSをはじめ、インターネット上のサービスの多くには、年齢制限がもうけられています。しかしネットパトロール中に、年齢制限を満たしていない子どもによって作成されたアカウントを見かけることもめずらしくありません。

年齢を偽ってサービスを利用する子どもたち

子どもたちに人気のSNSなどのサービスを調べてみると、右の表のように、13歳未満の利用を認めていないサービスが多いことがわかります。

しかし、多くのSNSなどでは、年齢制限は設けているものの、厳密な本人確認までは行いません。アカウントを作成するにあたって、本人に生年月日を入力させるというやりかたが主です。そのため、年齢制限を満たしていない子どもが年齢を偽ってアカウントを作成し、サービスを利用しているケースが多くあるのです。

サービス	年齢制限
Instagram	13歳未満
X（旧Twitter）	13歳未満
YouTube	13歳未満
Tik Tok	13歳未満



ゲームの年齢制限にも注意が必要です！

ゲームには、内容によって決められた対象年齢がマークとして表示されています。下記サイトを参考に、子どもが年齢制限を守ってプレイしているかを確認してください。

<https://www.cero.gr.jp/publics/index/17/>

レーティング制度 | 特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構（公式ホームページ）



年齢制限は子どもたちの安全を守るために必要なものです

SNSなどのサービスの利用はさまざまな危険をはらんでいます。サービス上で知り合った人に誘い出されて性的被害を受けたり、個人情報インターネット上にさらされたり、不適切な投稿をして炎上したりと、サービスの利用をきっかけに子どもたちがトラブルに巻き込まれる事案は後を絶ちません。そうした危険性を減らすために、適切な判断力・理解力を十分に備えてから利用すべきという考えのもと、SNSなどのサービスは年齢制限を設けています。



SNSなどのサービスの利用に伴うさまざまな危険を回避するために、年齢制限は必要なものであるということを子どもたちに理解させ、絶対にサービス上の年齢制限を守るよう指導してください。

そのうえで、ペアレンタルコントロールやフィルタリングサービスを使って、子どもが利用するインターネット機器の、「アプリのインストール」と「アプリの利用」に制限をかけておくという対策もあります。そうすることで、子どもが勝手にアプリをインストールすることができなくなり、年齢制限を満たしていないサービスの利用を未然に防ぐことが可能です。